

2012年10月10日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

ISID、国際金融会議「Sibos」に出展 ～アジア圏の金融機関向けグローバル・ビジネスを強化～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、資本金:81億8,050万円、代表取締役社長:釜井 節生、以下ISID)は、2012年10月29日から大阪で開催される世界最大規模の国際金融会議「Sibos(サイボス)」へ出展します。

アジアを中心とした新興国の経済成長が注目される中、ISIDはアジア圏における金融機関向けビジネスの拡大に取り組んでおり、今回のSibos出展を一つの契機として、さらにソリューション強化を図ってまいります。

■Sibosについて■

Sibosは、世界212カ国、10,000社以上の金融機関や事業会社を結ぶ金融取引のメッセージ網を提供する「SWIFT(スイフト)^{※1}」が毎年開催する国際会議で、金融機関やIT企業から例年6,000人を超えるマネジメント・クラスの参加者が来場します。35回目を迎える今年は、日本での初めての開催となります。

今回のSibosでは、世界経済の牽引役が欧米からアジア等の新興国へシフトしつつある動向を踏まえ、主要なテーマとして、市場取引に対する規制に加え、グローバル経済におけるアジアおよび日本の役割、企業取引を支援するトランザクション・バンキング^{※2}の発展へ向けた課題などが議論される予定です。また展示会場では、160の金融機関およびIT企業がソリューションやサービスの展示を行います。

■ISIDの取り組みについて■

ISIDは、1980年代よりロンドン、ニューヨーク、香港など海外の主要なマネーセンターに拠点を設立し、日系金融機関および事業法人の海外展開を支援してまいりました。2011年度からスタートした3カ年の中期経営計画「ISID Open Innovation 2013」においては、グローバル・ビジネスを注力領域の一つとし、さらなる事業強化を図っています。金融機関向けのグローバル・ビジネスは、海外拠点勘定系システム、トランザクション・バンキング・システム、市場取引支援システムなど、メガバンク向けソリューションを中心に拡大しています。アジア圏では香港、深圳、上海、北京、シンガポールに拠点を展開しており、アジア圏における金融機関向け売上高は、2011年度から2012年度にかけて約4割の増加を見込んでいます。

今回の出展では、アジア圏の現地法人を拠点として提供している金融機関向けサービスを中心に、ISIDグループのグローバル金融ソリューションをご紹介します。

■ Sibos 開催概要と ISiD 出展内容 ■

< Sibos 概要 >

開催日時: 2012年10月29日(月)～11月1日(木)
場所: インテックス大阪
主催: SWIFT
出展者: 金融機関やIT企業など160社
参加者: 金融機関、中央銀行、証券取引所、IT企業、事業法人などのマネジメント・クラスより例年6,000～9,000名
Sibos URL: <http://www.sibos.com/>
ISiD 出展関連 URL: http://www.isid.co.jp/event/2012/finance_09/

< ISiD 展示ブースの出展ソリューション >

1) トランザクション・バンキング関連ソリューション

大手都市銀行各行もサービス強化を表明しているトランザクション・バンキング領域においては、企業取引から生じるキャッシュフローと金融サービスを連携させるコンセプトを提示するとともに、それを構成するためのソリューションを出展します。

2) ファイナンス関連ソリューション

アジアにおいて急速に拡大しているリース事業会社向けに、リース基幹業務を支援するパッケージ・ソリューションを出展します。また、今後中国での展開を予定している信用リスク管理システムについても出展します。

3) 規制対応関連ソリューション

アジアにおける金融サービスの拡大に伴い、各国におけるインフラや当局規制の強化が進められています。今回の展示においては、日本の決済インフラに対応する日銀ネット^{※3}RTGS^{※4}向けソリューション、およびアジア向け当局規制対応ソリューションを出展します。

< ISiD オープンシアター講演内容 >

日時: 10月30日(火) 16:15 - 16:45
会場: Open Theatre 2, Hall 5
タイトル: Supply-Chain-Centric Transaction Banking
講演者: 電通国際情報サービス 金融ソリューション事業部 金融事業戦略部
シニアコンサルタント 定政 成浩
講演概要: 日本をはじめ世界中の企業がアジアへの進出を続けています。さらに、アジアの国々は生産拠点としての役割に加え、消費者としての役割も担いつつあります。これらが引き起こす企業のサプライチェーンの変化に伴い、それを支える金融機関のサービスにも変革が求められています。本セッションでは企業の視点から、サプライチェーンを中心に据えたトランザクション・バンキングの在り方について議論します。

【出展内容に関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 金融ソリューション事業部 金融事業戦略部
TEL: 03-6713-7007 E-Mail: g-finmarketing@group.isid.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 経営企画室 広報担当 李、清水
TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp

用語説明

- ※1 SWIFT:「Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication」の略。1973年に設立された金融取引に関わる国際的な通信インフラを提供するネットワーク運営会社。本部はベルギー。参加メンバーによって出資運営される共同組合の形式をとっており、その参加メンバーには銀行、証券会社、資産運用会社、事業法人などが含まれる。その通信ネットワークは、国際間の金融取引に関わるメッセージ通信のデファクト・スタンダードであり、世界212カ国、約10,000社が利用している。
- ※2 トランザクション・バンキング:貿易取引や資金決済など、企業の商取引を支える金融サービスの総称。
- ※3 日銀ネット:日本銀行金融ネットワークシステムの略。日本銀行が運営する決済システムで、日本銀行と参加金融機関をオンラインで接続し、参加者間および日本銀行との資金や国債の決済処理を行う。
- ※4 RTGS:Real Time Gross Settlementの略。決済方法の1方式で、即時グロス決済とも呼ばれる。決済システムの参加者が決済指図を1件ずつ送信し、決済システム側では1件毎に決済の相手先への支払い処理を実施するもの。

<電通国際情報サービス(ISID) 会社概要>

社名	: 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISID)
代表者	: 代表取締役社長 釜井 節生
本社	: 東京都港区港南 2-17-1
U R L	: http://www.isid.co.jp
設立	: 1975年
資本金	: 81億8,050万円
連結従業員	: 2,228人(2012年3月31日現在)
連結売上額	: 638億6,900万円(2012年3月期)
事業内容	: 1975年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営/連結会計、HRM(人事・給与・就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。